

平成24年行政事業レビューシート (環境省)									
事業名	鳥獣保護管理対策費			担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度 (一部、平成16年度)			担当課室	鳥獣保護業務室			室長 中島慶二	
会計区分	一般会計			施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鳥獣保護法第6条、第78条の2			関係する計画、通知等	鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鳥獣保護管理を総合的に推進することにより、鳥獣保護法に基づく基本指針及び第11次鳥獣保護事業計画の実効が図られ、地域ぐるみでの鳥獣捕獲対策の全国における実施地域の拡大、錯誤捕獲の減少等の適切な鳥獣保護管理が図られること、また、広域的な保護管理指針が策定されることにより、関係省庁、農林水産省、関係都道府県、市町村等が、統一した考え方の下に保護管理を実施することで、当該鳥獣の地域個体群を維持しつつ農林水産業等への被害が軽減されることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記について以下の通り実施。 ①鳥獣保護管理に係る人材育成事業として、鳥獣保護管理の担い手となる狩猟者育成、地域の人材育成事業の支援等を実施する。 ②特定鳥獣等の保護管理の実態を調査するため、特定鳥獣保護管理計画の実態調査等を実施する。 ③新たな鳥獣保護管理を推進するため、地域ぐるみでの有害鳥獣捕獲促進モデル地域づくり、クマ類等の錯誤捕獲防止技術開発等を実施する。 ④広域保護管理指針を踏まえた鳥獣保護管理の効果的な推進に向け、広域の保護管理の効果を検証するために各種の調査を実施する。 ⑤海棲哺乳類について、広域での保護管理の方向性を見いだすために基礎的な生息状況等に関する調査を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		補正予算	0	0	0	-			
		繰越し等	0	0	0	-			
		計	126	124	110	-	-		
	執行額		67	73	58				
	執行率(%)		53%	59%	53%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	野生鳥獣の適正は保護管理と狩猟の適正化を目標としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。			成果実績	—	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	野生鳥獣の適正は保護管理と狩猟の適正化を目標としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。			活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
						(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	— (円/)			算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
		-	-						
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	特定の鳥獣による生活環境、農林水産業及び生態系に係る被害が一層深刻な状況にあることから、鳥獣の保護管理の一層の推進が急務となっている。 鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針に基づき、国と地方の適切な役割分担のもと、国では鳥獣保護管理の人材育成や広域的に分布する鳥獣の対策など、全国的な視野を持ち、必要な対策を実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。経費は、適切な鳥獣保護管理を推進するための調査費や資料整理等の人件費、物品購入費など、不可欠な用途のみに充てられている。 また、事業実施にあたっては適正な執行がなされるよう執行状況、使途の把握に努めている。具体的には、請負事業者と密に連絡を取りつつ、進捗状況を把握し、管理しているほか、随時事業実施に必要なアドバイスを行っている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	過年度の事業成果は速やかに都道府県等へフィードバックを行うこと、ホームページ等により普及啓発を行うなどにより、各地域への成果の還元や事業の実効性確保に努めている。 農林水産省で実施されている類似事業は、専ら鳥獣被害対策に特化したものであり、人材育成や特定計画の作成支援、広域鳥獣保護管理など、鳥獣保護管理の推進に係る環境省の事業と明確に役割分担されている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 右記のとおり	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業により鳥獣保護管理を総合的に推進することで、シカやカワウ等の広域的な取組の体制づくり等が進展している。しかし、海生哺乳類について新たな対策が必要になったほか、特定の鳥獣の個体数増加や分布の拡大は引き続き起こっている状況にあることから、問題解決のためには、今後も継続して各種対策を実施していく必要がある。 平成23年9月の「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」の改訂により、地域ぐるみの取組等、特定鳥獣の保護管理の担い手対策の推進を含む、鳥獣保護管理の取組の強化を図ることとなった。鳥獣保護管理対策については、対策強化に係る必要性が増していることから、事業手法等の見直しを行った上で、今後は別事業（鳥獣保護管理強化総合対策事業）において、効率的、効果的な事業執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		当該事業については平成23年度限りで廃止。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止		平成23年度限りで廃止。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	191	平成23年行政事業レビュー	182

※平成23年度実績を記入

環境省本省
58百万円

北海道地方環境事務
所
7百万円

<企画競争>

A 特定非営利活動法人 北の海の動物センター
7百万円

【業務概要】
ゼニガタザラシ生息等調
査業務

東北地方環境事務所
1百万円

<少額随意契約>

B 特定非営利活動法人 ふくしまワイルドライフ
市民&科学者フォーラム等 2件
0.7百万円

【業務概要】
特定鳥獣放射線影響予備調
査等

<一般競争・総合評価>

C (財)自然環境研究センター
32百万円

【業務概要】
・狩猟鳥獣(ウズラ、ヤマシギ等)のモ
ニタリング手法等検討調査
・福島県等における野生鳥獣の生息
状況等に関する調査業務
・鳥獣保護管理に係る技術者の育成
のための研修及び登録事業
・鳥獣保護管理に係る人材確保のた

<総合評価>

D (株)野生動物保護管理事務所
6百万円

【業務概要】
関東山地ニホンジカの広域保護管
理のための情報整備及び被害対
策等推進業務

<一般競争>

E (NPO法人)バードリサーチ
5百万円

【業務概要】
・カワウ広域保護管理にかかる情報収
集・分析及び課題整理等推進業務
・特定地域におけるカワウ広域保護管
理の推進に係る状況把握及び検討検
討調査業務

<一般競争>

F 株式会社猛禽類医学研究所
2百万円

【業務概要】
猛禽類等の鉛中毒事故実態調査
業務

<少額随意契約>

G 山階鳥類研究所
0.97百万円

【業務概要】
鳥類識別(メジロ)マニュアル改訂
に向けた資料収集業務

<一般競争>

H (株)シグマスタッフ
4百万円

【業務概要】
鳥獣保護法の適正執行に係る各種関
連業務の事務補助

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.特定非営利活動法人 北の海の動物センター			E.特定非営利活動法人バードリサーチ		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
			7	人件費	業務の企画運営	2
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			その他	旅費等	1
	計		7	計		3
	B.			F.(株)猛禽類医学研究所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
				人件費	業務の企画運営	0.6
				その他	旅費等	1
	計			計		2
	C.(財)自然環境研究センター			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	人材育成研修の企画運営	6			
	旅費	研修会(下見含む)	4			
	諸謝金	研修会講師	1			
	その他	会場費等	1			
	一般管理費		1			
	消費税		1			
	計		14	計		
	D.(株)野生動物保護管理事務所			H.(株)シグマスタッフ		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	業務の企画運営	4	人件費	派遣職員賃金	3
	旅費	調査等旅費	1	その他	一般管理費等	1
	その他	諸謝金等	2			
	一般管理費		1			
	受注者負担分		▲ 2			
	計		6	計		4

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人 北の海の動物センター	平成23年度ゼニガタアザラン生息等調査業務	7	企画競争	-

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人ふくしま Wildlife ドライブ市民科学者フォーラム	平成23年度野生鳥獣被ばく量に関する調査業務	0.4	随意契約(少額)	
2	(株)千代田テクノル	特定鳥獣等の状況把握のための機器購入(放射線検査機器)	0.3	随意契約(少額)	

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	平成23年度鳥獣保護管理における人材育成(研修)事業	14	1	63%
2	(財)自然環境研究センター	平成23年度鳥獣保護管理における人材登録事業の運用及び活用並びに人材確保のための方策検討業務	7	1	73%
3	(財)自然環境研究センター	平成23年度狩猟鳥獣(ウズラ、ヤマシギ等)のモニタリング手法等検討調査	7	1	94%
4	(財)自然環境研究センター	平成23年度福島県等における野生鳥獣の生息状況等に関する調査業務	4	1	46%

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生生物保護管理事務所	平成23年度関東山地ニホンジカの広域保護管理のための情報整備及び被害対策等推進業務	6	3	90%

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(NPO)バードリサーチ	平成23年度特定地域におけるカワウ広域保護管理の推進に係る状況把握及び検討調査業務	3	2	84%
2	(NPO)バードリサーチ	平成23年度カワウ広域保護管理にかかる情報収集・分析及び課題整理等推進業務	2	2	55%

F

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社猛禽類医学研究所	平成23年度猛禽類等の鉛中毒事故実態調査業務	2	4	78%

G

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山階鳥類研究所	平成23年度鳥類識別(メジロ)マニュアル更新に向けた資料収集・整理業務	0.97	随意契約(少額)	-

H

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シグマスタッフ	鳥獣保護法の適正執行に係る各種関連業務の事務補助に関する派遣業務	4	1	99.5%

I

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					

J

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					

K

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					